

社員が地域貢献「ラムサール条約登録湿地の環境を守れ」

～ 社員有志が、地元「渡良瀬遊水地」の環境を脅かす「外来植物の除去」活動に参加 ～

9/17(土)、ラムサール条約登録湿地である渡良瀬遊水地で、栃木市の呼びかけによる「セイタカアワダチソウ」の抜き取り作業が行われました。これに、SDGs 推進活動の一環として、社員の有志とその家族が参加しました。



栃木・群馬・埼玉・茨城の4県にまたがる渡良瀬遊水地は、国内最大級の緑豊かなヨシ原を持つ湿地で、本来の低地の自然環境が保全されている場所として知られています。しかし、外来種の植物がはびこり、貴重な植物の生育に悪影響を及ぼす恐れがあります。そのため、栃木市では毎年ボランティアを募って除去作業を行い、その環境を守っています。

セイタカアワダチソウは繁殖力が強く、環境省の「要注意外来生物リスト」に掲載されています。根っこから根気よく抜き続けることが大切です。この日は比較的過ごしやすい気温だったものの、枝や花粉、熱中症などから体を守るため、参加者はみな、長袖、長靴、マスク、ゴーグル、帽子と重装備での参加です。滝のような汗を流しながら必死に作業に取り組みました。

そして、大勢のボランティアが力を合わせた結果、だいぶすっきりとさせることができました。これからも地元の貴重な環境を後世に守り伝えるため、積極的に協力してまいります。

お問い合わせ ケーブルテレビ株式会社・・・ 0282-25-1811(代表)
担当：人事総務課